

ニッポン ドクター和の 臨終図巻



長尾和宏（ながお・かずひろ）医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

僕はゴルフが大好きです。大きな大会の実況中継があれば、つい夜中までテレビを見てしまいます。ゴルフ中継は、実況者によって、天と地ほど印象が変わることがあります。

この人の実況はほんとうに素晴らしい。語彙が豊富で、タイミングも抜群。ゴルフ番組だけではありません。箱根駅伝も、オリピックもプロ野球も、よりドラマチックに、よりわかりやすく伝えてくれた稀有なアナウンサーの突然の訃報に戸惑っています。寂しいです。

日本テレビのスポーツ中継の要であった河村亮アナウンサーが5月14日に都内の病院で亡くなりました。享年54。死因は、脳出血との発表です。

最後のテレビ出演は、3月3日の巨人対阪神のオープン戦。その後、3月19日にはラジオ出演もさ

256

アナウンサー 河村亮



「和して同ぜず」で自分を守る

れていたようですが、体調不良を訴えて入院。そのまま回復されることなく、お亡くなりになったこと。

脳出血とは、脳卒中のひとつで脳の中を走る動脈が破綻した状態です。出血した塊が脳の神経細胞

を圧迫したり壊死（えし）することで、様々な症状が起こります。頭痛やめまい、痺れ、呂律が回らない、言葉が出てこない、視野が半分になる、フラフラして歩けないなど破損した場所や出血量によっても症状の現れ方が違ってきます。場合によっては、意識障害が起こり、そのまま回復せずに死に至ることも。

脳出血死の一番のリスクは、高血圧だといわれています。50代、60代に多いのも特徴です。昨今、高血圧の早期治療や栄養指導によ

って、脳出血で亡くなる人は年々減少している印象がありました。しかしこの1年ほど、なぜかほわかりませんが、またもや脳出血など、それまで元気だった若い世代が突然亡くなるケースが増えています。

コロナ禍以降、ニュースで「超過死亡数」という言葉を聞いた人も多いのではないだろうか。超過死亡とは、感染症による死亡だけでなく、全ての死亡者数が、平年に比べてどれだけ増えたのかを示す数字です。

WHO（世界保健機関）によれば、2021年の世界各国の超過死亡数合計は1490万人。なんと、同期間のコロナの死者数540万人の約3倍であることがわかりました。日本国内でも、ほぼ同様の比率であることがわかっていきます。これは驚くべき数字で、詳しい分析が待たれます。

河村さんの好きな言葉は、「和して同ぜず」だったそう。同調圧力に潰されることなく、自分とは自分で守る時代に今、移行しつつあると感じます。